

様式（1a）学修総まとめ科目履修計画書（※2頁以内）

学校名		専攻名	
専攻分野名称		専攻の区分	
氏名		学籍番号	
テーマ名			
指導教員名		指導補助教員名	

(1) 「学修総まとめ科目」で取り組むテーマの着想に至った背景

- 以下の記載内容を十分に確認し、履修計画書の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

学修総まとめ科目で取り組むテーマの着想に至った経緯を具体的に説明してください。また、当該テーマに関連する文献や資料等（既往の研究や先行研究など）について概観し、当該テーマの意義や背景を説明してください。引用した文献や資料は出現順に文献番号を振り、「参考文献」にまとめて文献番号とともに記載して、その出典を必ず明示してください。以下の(2)～(4)においても連続した文献番号を振り、同様に記載してください。

なお、複数の者が共同して同一又はほぼ同一のテーマの学修・探究を進める場合には、その理由と申請者の担当部分について自身の言葉で具体的に記述してください。

(2) 学修・探究の目的

- 以下の記載内容を十分に確認し、履修計画書の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

「(1) 「学修総まとめ科目」で取り組むテーマの着想に至った背景」の記載内容を踏まえて、学修総まとめ科目で取り組むテーマの目的を具体的に記述し、その意義を説明してください。

(3) 学修・探究の方法と計画

- 以下の記載内容を十分に確認し、履修計画書の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

「(2)学修・探究の目的」をどのような手法・手段を用いて達成するのかを説明してください。手法・手段を具体的に記述し、使用する材料、資料、あるいは調査対象などについて記述してください。必要に応じて装置図や手順を説明する流れ図等を用いても構いません。

次に、学修・探究の実施内容について説明し、どの時点でどこまで実施するのか、大まかなスケジュールを記述してください。

なお、学位授与申請の時点で学修総まとめ科目の履修が一定程度進んでいる場合は、申請時点でその状況に基づいて記述し、かつ履修終了時までには何を達成するかを記載してください。

倫理的配慮

- 以下の記載内容を十分に確認し、履修計画書の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

調査や実験を行う上で必要な倫理的配慮（「倫理的配慮」の項^{[1], [2]}参照）について、その内容を具体的に明記するとともに、実施にあたって学内外の倫理審査委員会等に申請している場合には、その申請状況等について記載してください。該当がない場合にはその旨（「該当なし」など）を記載してください。

(4) 期待される成果

- 以下の記載内容を十分に確認し、履修計画書の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

学修総まとめ科目で取り組むテーマの学修・探究によって、得られると期待される結果・成果を記載してください。また、実施にあたり予想される困難・障害があれば説明し、目的達成の見通しを記載してください。

参考文献

- 以下の記載内容を十分に確認し、履修計画書の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

(1)～(4)で引用した文献について、出現順に番号を付してまとめて記載してください。

[1] 『学位規則第6条第1項に規定する学士の学位の授与の特例に係る学位授与申請案内（令和5年度版）』（独）大学改革支援・学位授与機構（令和5年3月），p. 16.

[2] 『新しい学士への途学位授与申請案内 令和5年度版』（独）大学改革支援・学位授与機構（令和5年3月），pp. 20-22: https://www.niad.ac.jp/n_gakui/media-download/5948/7a397ed4625204b6/